

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		庫県三田市を舞台とした定住人口・交流人口・関係人口の増加戦略	移住定住促進課
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	体験してみても三田市		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	クリエイティブイノベーション愛好会		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 ドロップダウン選択→		2. 学生
チームメンバー数(公開)	3名		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名（[メンバー一覧ページ](#)を参照）、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
（具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>）
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 →

OK

＜チームメンバー名簿：[メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。**2 ページ以内**でご記入ください。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

魅力的な町であるのに、三田市の転出者が増加、転入者が減少傾向である点。

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみる）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

1. 「田舎ステイ」を実施する。
 2. 駅前にトゥクトゥクを設置する。
 3. ①、②に合わせたホームページの作成をする。
-
1. は、空き家バンクをすでに市が実施しているのでその物件を所有者と利用者の橋渡しを市が行う。有料にしまうと責任が生じてしまうため、無料での貸し出しのほうが良いと考える。家の貸し出しのみとして、その他必要なものは自己負担とする。完全予約制として専用のサイトを作り、そこで所有者からの利用にあたっての留意事項を承諾した方に利用してもらう。
 2. は、三田（神戸電鉄）駅周辺に設置する。三田市の観光地などのアクセス面でのネガティブな面を、非日常的な体験が可能ということを武器に提案する。三田市の観光と、「ひと」はさまざまな技術や経験をもつ人材や人づくりの環境、「まち」は良質な住宅や都市機能、まちならではの「にぎわい」、「さと」は生活に密着した里山、水辺等の自然環境や自然と共に暮らせる生活環境、ふるさととしての生活の匂いを感じてもらう。神戸親和大学に現在設置されているトゥクトゥクを使用。
 3. 空き家の利用予約、貸出者の留意事項のページ、トゥクトゥクの予約、規定のページを作り、実際に利用できるようにする。

参考資料：<https://sanda-portal.com/akiyabank/index.html>

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

「田舎ステイ」を実施する。

空き家バンクをすでに市が実施しているのでその物件を所有者と利用者の橋渡しを市が行う。有料にしてしまうと責任が生じてしまうため、無料で貸し出しのほうが良いと考える。家の貸し出しのみとして、その他必要なものは自己負担とする。完全予約制として専用のサイトを作り、そこで所有者からの利用にあたっての留意事項を承諾した方に利用してもらう。

駅前にトゥクトゥクを設置する。

三田（神戸電鉄）駅周辺に設置する。三田市の観光地などのアクセス面でのネガティブな面を、非日常的な体験が可能ということを武器に提案する。三田市の観光と、「ひと」はさまざまな技術や経験をもつ人材や人づくりの環境、「まち」は良質な住宅や都市機能、まちならではの「にぎわい」、「さと」は生活に密着した里山、水辺等の自然環境や自然と共に暮らせる生活環境、ふるさととしての生活の匂いを感じてもらう。

①、②に合わせたホームページの作成をする。

空き家の利用予約、貸出者の留意事項のページ、トゥクトゥクの予約、規定のページを作り、実際に利用できるようにする。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

・田舎ステイ

三田市が魅力的な町であると地図や写真からではわからない部分がある。移住のきっかけと知ってもらうため、三田市での生活を疑似体験してもらう。また、特産物などが多くある三田市で済む場所だけの提供だからこそ、買い物や出先の中での発見があると思うため。

・駅前にトクトックを設置する

駅から人気観光地であるフルーツフラワーパーク、アウトレット、有馬富士公園へのアクセスがバス、タクシーなどの交通機関を使用するため。また、三田市の地形は、北部と東部に標高 500～700mの主要山岳が位置し、南西部は概ね 300m以内の丘陵台地になっています。武庫川が北西から南東に市域を貫流しており、波豆川、羽束川、黒川、青野川など多くの支流を有している。よって徒歩よりも快適に移動が可能である。加えて、トクトックの燃費は良く、複数人で乗れるという利点がある。

参考資料：<https://shinanomachi-iju.jp/503/>

<https://www.city.sanda.lg.jp/soshiki/34/gyomu/sumai/3/akiya/4228.html>

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

田舎ステイ

市に田舎ステイに飛べるページを作る。空き家所有者から使用許諾を市に伝え、市のホームページに記載する。そして、利用者からの予約に市がその物件を紹介する。

・トックトゥクの利用

神戸親和大学にあるトックトゥクの使用許可を得て、それを駅周辺に設置する。利用は市のホームページ、市役所が近くにあるので許諾を得る。その際に、使用時間や免許の有無など私と大学と契約をして利用開始できるようにする。